

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	名古屋産業大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ナゴヤサンギョウダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ I・II・III
	学部・研究科等名	現代ビジネス学部
	担当教職員名・役職	丸岡稔典・特任講師
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	1
	受入企業等数	10
	受入企業等名	尾張旭市役所、一般社団法人日本ワーキング・ホリデー協会など
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	市役所文化スポーツ課において、市史に関する蔵書を整理し、データベース化する、古い地図情報を更新する、イベントの受付をする、などの業務を行う。また、市役所職員へ業務への意識や志望動機などについてインタビューを行い、市役所業務への理解を深める。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している,7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している,9.その他
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次～4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	18単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	主に3年生を対象に、春学期期間中の5月から7月の3か月のインターンシップを中心とした専門科目「インターンシップ I・II・III」として実施している。本科目では、大学で学んだ知識や身に着けた社会人基礎力を実践の場で活用し、就業体験を通して現在の自分の能力を把握し、今後の学修やキャリア設計に役立てる。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している,2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	全16回の事前学習の中で、インターンシップの趣旨や目的の理解(第1回)、インターンシップ中の目標設定等を行う(第12回、13回)とともに、企業研究(第8回、10回、11回)やビジネスマナー研修(第4回、5回、15回)、インターンシップ中のリスクマネジメント(第16回)等を実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップを通じて得た経験や自分の成長を振り返り、今後の学習や行動にどのように役立てていくかを考えることを目的として、レポートの作成や企業担当者を招いた報告会を実施している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	月に1回、教員がインターンシップ中に研修先事業所を訪問し、学生ならび企業の担当者と面談を行い、学生がインターンシップ中に作成する日誌も用いながら、研修先で生じている問題の解決を図り、設定したインターンシップ中の目標達成に向けた指導を行っている。また、研修期間中に月に1回大学でスクーリングを行い、その都度研修の振り返りと研修中の問題の解決を行っている。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ実施前、実施期間中、終了後に社会人基礎力評価表を用いて、社会人基礎力の伸長を評価している。また、研修終了後に、レポートを書かせ、自己の成長について記載させている。

要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	3か月間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)		
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	尾張旭市役所において3か月間のインターンシップを実施している。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している。3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前学習時に、研修先事業所の調査と研修での目標の発表会を開催し、事業所の関係者を招待している。研修終了後、成果発表会を開催し、事業所の関係者を招待している。研修開始前と研修終了時に学生の社会人基礎力の評価を、研修終了時に研修に対する評価を依頼している。研修開始前や研修期間中に個々の学生の到達目標やプログラムについて打ち合わせを行っている。大学教員と事業所の担当者の議論の場を設け、インターンシップの目標の確認と事業所側の負担軽減に努めている。
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://syb.nagoya-su.ac.jp/syllabus/html/2017_10492002.html https://www.nagoya-su.ac.jp/department/5-programs/company-internship/https://www.nagoya-su.ac.jp/2016/12/4081/	
問い合わせ先	大学等名	名古屋産業大学
	担当部署名	キャリア支援課
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	0561-55-3078
メールアドレス	career@nagoya-su.ac.jp	